

議案第 1 号

美術品購入選考委員の委嘱について

次のことについて議決を求める。

記

委 員

氏 名	分 野	区分	住 所
■■■■	博物館協議委員・陶芸家	新任	■■■■■■■■■■
■■■■	博物館専門委員・古美術商	新任	■■■■■■■■■■
■■■■	文化財調査委員・陶芸家	新任	■■■■■■■■■■
■■■■	小松美術作家協会・学識経験者	新任	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
■■■■	小松美術作家協会・学識経験者	新任	■■■■■■■■■■

任 期

平成 31 年 1 月 20 日～平成 33 年 1 月 19 日

根拠法令

小松市美術品購入選考委員会要項

※小松市美術品購入基金条例

美術品購入基金と美術品購入選考委員会の経緯について

昭和50年代中頃に、市民の間に「総合美術館建設」の要望や要請が高まり、「総合美術館建設構想」をさらに推し進め、進展させようという目的で、加登周一氏と二代徳田八十吉氏が「古九谷」を博物館に寄贈された。これを契機に機運が盛り上がり「美術品購入基金」が設置され、それに伴って「美術品購入選考委員会」が設けられた。

博物館の資料収集については、これまで、市民からの寄贈と購入により除々にその数及び内容の充実を図ってきたが、こうした動きを受けて、とりわけ美術資料について質量ともにより一層の充実を図る目的で、昭和58年度当初予算に「美術品購入基金」として、2千万円が計上された。

この基金を運用して実際に美術資料を選考・購入するに際しては、深い専門性と豊富な経験に基づく正確且つ適正な鑑定が必要である。このため、これまで「美術品購入選考委員会」がその任にあたっている。

当基金による美術品購入実績は、現在下記の25件40点。

昭和58年度 宮本三郎作 洋画「楽しき海の日」の記念」
陶磁器 青九谷「菊花文大平鉢」

平成 5年度 清水鍊徳作 洋画「赤平川」
蓮田修吾郎作 金工「白銅浮彫 雲よ湿原譜」

平成 6年度 掛井五郎作 彫刻「森の影」

平成13年度 初代徳田八十吉作 陶磁器「吉田屋窯欽慕龍文飾皿」他
19件34点

平成17年度 宮本三郎作 洋画「日本の四季」1件6点

平成22年度 栗生屋源右衛門作 陶磁器「飲中八仙詩画文自動噴水器」

(＊年度は一般会計年度)

平成29年度末 基金残高 4億4681万836円

小松市美術品購入選考委員会要綱

(目 的)

- 1 小松市立博物館の美術資料購入を円滑適正に行うため、小松市美術品購入選考委員会（以下「委員会」という）を設置する。

(職 務)

- 2 委員会は小松市立博物館の諮問に応じ、次の掲げる事項について審議する。
 - (1) 博物館の美術資料の収集計画について
 - (2) 美術資料の収集適否について
 - (3) 美術資料の評価について
 - (4) 美術資料購入価格の適否について
 - (5) 美術資料の寄贈者に対する謝礼について
 - (6) その他美術資料について

(組 織)

- 3 委員会は7人以内の委員で構成する。
- 4 委員会の委員は、次の各号に掲げる者のうちから、小松市教育委員会が委嘱する。
 - (1) 博物館協議会委員
 - (2) 博物館専門委員（美術担当）
 - (3) 小松市文化財調査委員会委員
 - (4) 学識経験者

(任 期)

- 5 委員会の委員の任期は2年とする。但し、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(その他)

- 6 この要綱の施行に関し、必要な事項は小松市教育委員会が定める。

(附 則)

この要綱は、平成5年5月1日から施行する。

(設置)

第1条 小松市立博物館の美術品を円滑かつ効率的に購入するため、小松市美術品購入基金(以下「基金」という。)を設置する。

(積立て)

第2条 基金として積み立てる額は、予算で定める額とする。

(管理)

第3条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により運用しなければならない。

(運用益金の処理)

第4条 基金の運用から生ずる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上して、この基金に繰り入れるものとする。

(繰替運用)

第5条 市長は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる。

(処分)

第6条 基金は、小松市立博物館の美術品の購入に要する経費の財源に充てる場合に限り、その全部又は一部を処分することができる。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか基金の管理に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

この条例は、昭和58年4月1日から施行する。

博物館・美術館の展覧会とデッサン大賞展について

博物館

企画展「しらべてみよう！むかしのくらし」

小学校3年生の単元に合わせて開催する恒例の展覧会です。今年は、昭和初期の台所と昭和30～40年代の茶の間を再現。米作りの道具や冬のくらしの道具なども展示。さわったり、着たりできる体験コーナーも充実。希望者にはワークシートも配布し、学校見学では、せんばこき、唐箕、足踏み脱穀機などの体験や、専門委員による解説を行っています。現在17校（加賀市1校含む）の見学予約が入っています。

会 期 平成30年12月8日(土)～平成31年3月10日(日)

休館日 月曜日、祝日の翌日（月曜日が祝日の場合はその翌日）

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時まで）

入館料 一般 300円（20人以上で団体割引あり）

高校生以下無料／障がい者手帳をお持ちの方と介助者1人まで無料

本陣記念美術館

企画展「食の工芸を楽しむ」

本陣コレクションから様々な食にまつわる作品をセレクト。造形的な美しさ、豊かな紋様、土や石、漆や木などの質感や風合いから食の工芸をお楽しみいただけます。

会 期 平成30年12月8日(土)～平成31年3月10日(日)

※2月5日(火)から一部の作品を入れ替えます。

休館日 月曜日、祝日の翌日（月曜日が祝日の場合はその翌日）

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時まで）

入館料 一般 300円（20人以上で団体割引あり）

高校生以下無料／障がい者手帳をお持ちの方と介助者1人まで無料

関連行事

ギャラリートーク 1/19（土）・2/16（土）・3/2（土）11:00～ 14:00～

（要入館料）予約不要

宮本三郎美術館

企画展 「それから～宮本三郎の挑戦～」

宮本三郎の戦後の作品に着目した企画展です。戦後初めて手がけた「日本の四季」から晩年の「花と裸婦」まで。どのように自身の表現を確立していったのかを考える展覧会。

会 期 平成30年12月22日(土)～平成31年3月10日(日) 会期中無休

関連行事

- (1) ギャラリートーク 2/17 (日) 14:00～ (要入館料) 予約不要
- (2) アートなカレンダーを作ろう 1/27 (日) 9:30～11:30 要予約 大人のみ入館料
- (3) 美術館でヨガ 2/5 (火) 10:00～11:15 要予約 400 円 (入館料込み)

宮本三郎ふるさと館

企画展 「宮本三郎のアトリエにようこそ！」

宮本三郎が使用した家具や花器、衣服などを作品と合わせてご紹介しています。

会 期 平成30年12月22日(土)～平成31年3月10日(日)

休館日 月曜日、祝日の翌日 (月曜日が祝日の場合はその翌日)

開館時間 午前9時～午後5時 (入館は午後4時まで)

入館料 一般 400 円 (宮本三郎美術館・ふるさと館2館共通)

高校生以下無料／障がい者手帳をお持ちの方と介助者1人まで無料

関連行事

- (1) 親子凧作り教室 2/2 (土) 10:00～15:00 要予約 凧1つにつき 500 円
 - (2) クラシックピアノコンサート 3/10 (日) 14:00～15:00 申込み不要
- 演奏中は入館無料

お知らせ

第5回宮本三郎記念デッサン大賞展の募集要項完成！

2019年4月1日より募集開始です。



企画展

しらべてみよう！ むかしをくらし



開催期間 2018 12.8土 ▶ 2019 3.10日

開館時間：9:00～17:00（入館～16:30）

休館日：月曜日（ただし月曜が祝日の場合はその翌日）

年末年始 12/29～1/3

入館料：一般 300 円 / 団体 250 円（20 名様以上）

※高校生以下無料・こまつミュージアムバス利用可

障がい者手帳をお持ちの方と介助者 1 名は無料

小松市立博物館

〒923-0903 石川県小松市丸の内公園町19
☎0761-22-0714 <http://www.kcm.gr.jp/hakubutsukan/>



企画展

食の工芸を楽しむ

平成30年12/8(土)~平成31年3/10(日)

*2/5 (火)より後期展示(一部作品を入れ替えます)

【開館時間】 9:00~17:00(入館は16:30まで)

【休館日】 祝日の翌日 月曜日 12/29-1/3

(月曜日が祝日の場合は開館、その翌日休館)

【入館料】 一般300円(20名以上の団体は250円)

高校生以下無料

・こまつミュージアム・パスの利用可

・障がい者手帳持参者及びその介護人1名無料



10代中村尼宗哲<松梅唐神吸物椀>(漆工)



2代松本佐吉<瓢形山水徳利>(陶磁)



北大路魯山人<いとまき平向>(陶磁)

小松市立本陣記念美術館 〒923-0903 石川県小松市丸の内公園町19 ☎0761-22-3384
Komatsu City Honjin Memorial Art Museum

それから 宮本三郎の挑戦

宮本三郎が戦後、どのように自身の表現を確立していったのか 作品とともに考えます



2018.12.22|土| ——— 2019.3.10|日|

小松市立

 宮本三郎美術館

開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)

休 館 日：年末年始(12/29～1/3)

入 館 料：一般400(300)円、大学生200(150)円(宮本三郎ふるさと館と共通)

※高校生以下無料※()内は20名以上の団体料金※こまつミュージアム・パス対象施設

※障がい者手帳等お持ちの方と介助者1名は無料

会期中のイベント 詳しい内容は小松市のHPをご覧ください

会場：宮本三郎美術館 小松市小馬出町5 / TEL：0761-20-3600

●学芸員ギャラリートーク《申込不要》1/14(月・祝)、2/17(日)いずれも14:00～

●美術館でヨガ《要申込》

宮本三郎の代表作《日本の四季》を鑑賞後、作品の前でヨガを行います。

【1回目】12/25(火) 10:00～11:15 / 申込期間：12/8(土)～20(木)

【2回目】2/5(火) 10:00～11:15 / 申込期間：1/19(土)～31(木)

講 師：大田垣美菜子

参 加 費：400円(展示観覧料)、中学・高校生無料

対 象：美術鑑賞とヨガの好きな方(中学生以上)

持ち物・服装：ヨガマット、飲み物、動きやすい服装

●アートなカレンダーを作ろう《要申込》1/27(日) 9:30～11:30

いろんな絵画技法を使って4月始まりのカレンダーを作ってみよう！

参 加 費：小学生無料、一般400円(展示観覧料)

申込期間：1/5(土)～20(日)

対 象：小学生(3年生以下は保護者同伴) / 定 員：12名

持ち物・服装：飲み物、汚れてもよい服装

次回企画展案内：企画展「色の記憶」2019/3/23(土)～6/16(日)



上《歡喜》1965年、下《浴女》1969年 個人蔵



上《横臥裸婦》1967年頃、下《百合・ミモザ》1967-71年頃

宮本三郎ふるさと館 企画展

宮本三郎の アトリエ によろこそ!

2018 12.22^土 — 2019 3.10^日

宮本三郎が使用した家具や花器、衣服などを作品と併せてご紹介します



小松市立 宮本三郎ふるさと館

開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)

休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、年末年始(12/29～1/3)

入館料：一般400(300)円、大学生200(150)円(宮本三郎美術館と共通)※高校生以下無料

※()内は20名以上の団体料金※こまつミュージアム・パス対象施設

※障がい者手帳等お持ちの方と介助者1名は無料

会期中のイベント 詳しい内容は小松市のHPをご覧ください

会場：宮本三郎ふるさと館 小松市松崎町16-1 / TEL：0761-43-3032

●親子風作り教室《要申込》2/2(土) 10:00～15:00

参加費：風一つにつき500円

申込期間：1/12(土)～27(日) / 定員：小学生親子15組(先着順)

持ち物：画材(マジック・水彩絵の具など)、ハサミ、飲み物 ※昼食に、おもちとトン汁が出ます

服装：汚れてもよい温かい服装(長靴)

●クラシックピアノコンサート《申込不要》3/10(日)14:00～15:00

参加費：コンサート中は入館無料 / 定員：50名 / 出演：伊藤裕子

次回企画展案内：企画展『新しい宮本三郎の美の視点』2019/3/23(土)～6/16(日)



第 **5** 回

Komatsu
Biennale
2019

宮本三郎記念

デッサン大賞展

明日の表現を拓く

一本の線から生まれたかたちには、それを描いた人の感性や心の動きが表れ、それぞれが独特な表現への可能性をひめています。デッサンの名手と呼ばれた宮本三郎は、「一枚の白紙と一本の木炭があれば、その精神が対象と一体となって、充分の活動を開始する。」と述べています。

このデッサン大賞展は、線や様々な手法によって生み出される豊かな表現を求める場として生まれました。新しいデッサンの表現の地平をおし広げるための一本の線、また、新鮮な技法、未来を拓く独創的な表現を求めます。

作品募集

大賞
100万円

応募期間

2019年4月1日(月)
～ 6月28日(金)

小松展

2019年9月28日(土)～12月1日(日)
小松市立宮本三郎美術館

東京
巡回展

2020年1月25日(土)～3月15日(日)〔予定〕
世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

審査委員

荒井良二

(絵本作家・イラストレーター)

小澤基弘

(埼玉大学教授・画家)

橋本善八

(世田谷美術館学芸部長)

町田久美

(画家)

皆川 明

(デザイナー)

主催

小松市、小松市立宮本三郎美術館、
宮本三郎記念デッサン大賞展実行委員会

協力

世田谷美術館

募集要項

第5回 宮本三郎記念デッサン大賞展「明日の表現を拓く」

応募資格

不問（年齢・国籍・経歴を問いません）

テーマ

自由（具象、抽象の境界はありません。美術・文学・音楽・建築など、すべての創造の源泉であり、表現の地平をおし広げるための一本の線から広がる作品を求めます。）

作品規定

3年以内に制作された自作作品であること。他のコンクール・公募展で入賞、入選等していないこと。

サイズ 大きさ：縦1,280mm×横1,280mm以内（額含む）
厚さ：100mm以内（額含む） 重さ：20kg以内（額含む）

形状 壁面展示可能な平面作品
※展示に適した強度、形態であること。※作品の重さに見合った吊具を取り付けること。

点数 1人2点まで（グループでの応募は不可）

注意事項 ・危険物、腐敗するおそれのある材料による作品は不可。
・第三者の著作権を侵害していないものに限りです。
※第三者の作品を盗用、模倣した事実が発覚した場合は、入賞、入選の発表後であっても、それを取り消します。
・国外から作品を送付する場合は、事務局までお問い合わせ下さい。

出品料

6,000円（2点まで）出品料の送金先は以下のとおりです。

郵便振替口座 00730-4-74383 加入者名 小松市立宮本三郎美術館

※原則として、納入された出品料は返金できませんのでご了承下さい。
※払い込み期限：2019年6月28日（金） ※振り込み手数料は各自ご負担下さい。

審査員

荒井良二（絵本作家・イラストレーター）
小澤基弘（埼玉大学教授・画家）
橋本善八（世田谷美術館学芸部長）
町田久美（画家）
皆川 明（デザイナー） 〈五十音順〉

賞

大賞 1点 副賞100万円 優秀賞 2点 副賞30万円
宮本三郎記念賞 1点 副賞50万円 佳作 4点 副賞10万円
その他、企業協賛による特別賞を設ける場合があります。 ※入賞・入選あわせて約50点

審査発表

8月上旬頃に本人宛に通知します。

授賞式

2019年9月28日（土）午後を予定
会場：市民ギャラリー ルフレ（小松市立博物館1階）
〒923-0903 石川県小松市丸の内公園町19番地 電話 0761-22-0714

展覧会

小松展 会期：2019年9月28日（土）～12月1日（日）
会場：小松市立宮本三郎美術館
東京巡回展 会期：2020年1月25日（土）～3月15日（日）〔予定〕
会場：世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館
〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13

応募の流れ

応募申込 2019年4月1日（月）～6月28日（金）（午後4時必着）
出品申込書両面に必要事項を記入。出品料受領書を添付。出品申込書を提出。
作品搬入 2019年7月4日（木）～7月6日（土）（午後4時必着）
作品の裏面右上に出品票を貼る。
審査発表 8月上旬頃に本人宛に通知します。
展覧会 【小松展】2019年9月28日（土）～12月1日（日）
【東京巡回展】2020年1月25日（土）～3月15日（日）〔予定〕
受賞式 2019年9月28日（土）
返却 随時

応募方法

(1) 出品申込書について

- ① 出品申込書は要項に添付されたものをご使用下さい。ホームページから書式をダウンロードするか、返信切手82円を同封の上、事務局までご請求ください。
- ② 出品申込書に郵便振替払込受領書（写しでも可）を添付し、必要事項を記入の上、応募期間内に事務局まで郵送もしくはご持参下さい。
- ③ 出品申込書裏面の所定欄に「私にとってのデッサン・ドローイングとは」について400字以内で記述して下さい。（制作の意図やあなたのデッサンやドローイング観についてまとめて下さい。）審査の参考や、展示の際に利用する場合があります。※必須

出品申込書の送付先

宮本三郎記念デッサン大賞展実行委員会事務局 宛
〒923-0904 石川県小松市小馬出町5 小松市立宮本三郎美術館内

- ④ 出品票は、天地を確認のうえ、作品の裏面右上部に貼って提出して下さい。
- ⑤ 受付後に作品および作品名の変更はできません。

(2) 作品の搬入について

- ① 搬入に係る費用は全て出品者負担とします。
- ② 作品は下記に指定する輸送業務委託者へ送付して下さい（業者への直接持ち込み可。美術館では受け付けいたしません）。
- ③ 搬出時にも使用できる梱包状態にして下さい。

(3) 作品の返却について

- ① 返却に係る費用は選外・入選に関らず、出品者負担とします。
- ② 選外の作品については審査後、業務委託者から2019年8月中旬に順次返却いたします。
- ③ 大賞、宮本三郎記念賞、優秀賞以外の入賞作品及び入選作品は大賞展終了後に、業務委託者から2020年3月中（予定）に返却いたします。

作品搬入先・本展委託会社

株式会社インプレス 美術事業部 デッサン大賞展係
〒921-8802 石川県野々市市押野4丁目117 TEL:076-248-5353

【応募期間】2019年4月1日（月）～6月28日（金）（午後4時必着）

【搬入期間】2019年7月4日（木）～7月6日（土）（午後4時必着）

注意事項

- (1) 搬入、搬出、輸送中の作品取扱いについては十分留意いたしますが、破損等の損害については、主催者及び業務委託者は責任を負いかねます。必要と思われる方は各自で保険をかけて下さい。
- (2) 大賞、宮本三郎記念賞、優秀賞作品は副賞賞金による買上げとし、これらの作品の所有権は小松市に帰属します。
- (3) 受賞者・入選者の作品写真および出品申込書の記載事項は、本展覧会、図録、広報一般に使用、掲載いたしますのでご了承下さい。
- (4) 個人情報保護法に基づき、個人情報は本展業務以外で使用いたしません。
- (5) 審査に関するお問い合わせには一切応じられません。ご了承下さい。

問い合わせ先

宮本三郎記念デッサン大賞展実行委員会事務局（小松市立宮本三郎美術館内）

〒923-0904 石川県小松市小馬出町5番地 電話 0761-20-3600 FAX 0761-24-3374 <http://www.kcm.gr.jp/miyamotosaburo/>
e-mail msm@city.komatsu.lg.jp [f facebook](#) [@ インスタグラム](#) を利用しています

寄附受納について

元小松市立栗津小学校校長 小嶋 健男様から小松市に寄附がありました。
内容は下記のとおりです。

記

- | | |
|---------|--------------------------------|
| 1 受納日 | 平成30年11月28日（水） |
| 2 寄附金額 | 1,000,000円 |
| 3 寄附の目的 | 小松市の小中学校の理科教育の推進支援 |
| 4 感謝状 | 平成31年2月6日（水）15時より
3A応接室にて贈呈 |

《図書館報告事項》

1 月は、新年にちなんだ行事をいろいろと本館、南部図書館で企画！

こまつ市民読書の日事業

☆ 絵本かるた 1/27（南部／本館は 1/13 に開催）

絵本の表紙をかるたにして、内容を読んでもらい、その絵本の表紙をとっていくかるた。

年長児から小学生を対象に、55 枚のかるたを用意。



本の福袋 1/5 からなくなるまで（南部図書館でも実施）

自分の好きなジャンル以外の本にも興味を持つきっかけになればと去年より企画。

図書館職員が選んだ本を2～3冊、今年は紙袋を大きさも色（赤）も統一。中身がわからないよう袋に入れ貸出した。袋の表には本の内容のテーマのみを表示（写真参照）。

一般向け 30 袋、児童向け 20 袋、南部では、各 15 袋を用意。

1/5 早々に、「テレビ金沢」の取材を受け、昼と夕方のニュースで紹介された。



テーマ展示（～1/31）

☆ お正月の本 亥の本（写真左）

2019 年の干支は亥年ということで、イノシシや正月にちなんだ本をズラリと並べた。

☆ いろんな雪と氷の世界（写真右）

雪と氷に関する小説、絵本、図鑑やウィンタースポーツの本も取り上げる。



古文書講座 2/16・24・3/3（全3回） 市史編纂担当

『古文書を読んでみよう』（2/16）…武家・寺院文書を読み解く。初歩的なくずしを学ぶ。

『町方文書を読む』（2/24）・『地方文書を読む』（3/3）…前回の応用編。読み解きばかりでなく、当時の町や村の様子も解説する。

講師は、袖吉正樹金沢市立玉川図書館担当館長補佐（小松市史専門委員）をお招きする。

小松市小学校跡地活用検討委員会の設置について

1. 目的

小学校跡地の活用方針を策定するため、「小松市小学校跡地活用検討委員会」を設置する。

2. 委員会構成員等

- ・金沢大学教授ほか有識者など 4名
- ・事務局は教育委員会教育庶務課

3. 委員会実施の予定

会議は、1学校につき3回程度を予定。山間部に近い西尾小学校の活用検討を先行して行う。

・第1回検討委員会

日時 平成30年12月27日（木）

内容 概要説明、旧西尾小現地視察、意見交換

平成31年度の広域通学生の決定について

- ・広域通学は、市内在住の児童・生徒が通学区域にかかわらず通学できる制度
松東みどり学園と松東中学校を指定し実施している
- ・両校の教育方針に賛同し、学習に積極的に参加できる児童・生徒を募集
面談を経て、下記のとおり平成31年度の広域通学生を決定

【通学生決定までの日程】

	松東みどり学園	松東中学校
1. 学校説明会	H30. 11. 27 (火)	H30. 12. 5 (水)
2. 面談会	H30. 12. 8 (土)	H30. 12. 22 (土)
3. 結果通知	H30. 12. 27 (木)	H30. 12. 27 (木)
4. 通学期間	H31. 4 から 1 年間(継続可)	H31. 4 から 1 年間(継続可)

【参考：広域通学者の割合】

(各年度 5 月 1 日現在)

	松東みどり学園 (H30～)		松東中学校	
	広域／全校数	新規	広域／全校数	新規
H27	20／31	3	16／95	4
H28	20／32	4	16／95	8
H29	20／33	6	16／82	6
H30	13／129	2	13／80	4
H31 予定	13／119	3	9／72	2

寄附受納について

元教育委員 蘆邊 千鶴子 氏より、小松市立学校における英語教育の充実のために、下記のとおり寄附がありました。

記

1. 受納日 平成31年1月17日（木）
2. 寄附金額 500,000円
3. 寄附の目的 小松市立学校における英語教育の充実
4. 感謝状 平成31年1月17日（木） 11:30より
3A応接室にて贈呈